

2021年度(令和3年度)学校評価自己評価表

松永中学校区	校番 33	福山市立柳津小学校
最終更新日		2021年(令和3年)4月1日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 ・コロナ禍の中、各学校感染拡大防止策を考え工夫されて学習、行事に取り組まれている。来年度も、子どもたちが自分でルールなどを考えながら、学校が楽しいと感じられるように校区の学校が取り組んでほしい。 ・評価項目の8項目において、十分満足、概ね満足できるという肯定的評価をいただいでおり、引き続き努力してほしい。	児童生徒の現状 ・全国学力調査などから、算数・数学では説明する力、国語では文脈に則して語彙を適切に書く力など自分の考えを表現する力に課題がある。 ・他者意識が低く、挨拶をしない児童生徒が多い。 ・交通ルールが守れず、事故件数が増えている ・児童生徒の自己肯定感が低い。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 中学校区として統一した取組等	“コミュニケーション能力&感性・思いやり” “自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力を身につけた子ども” ・授業づくりにおいて、「少人数での協働的な学びあい活動」、「問い続けたいくなるような発問の工夫」、「効果的なICTの活用」などに取り組む ・あいさつ運動に取り組む ・親子で語り合ったり、ふれあったりする時間を増やすことに取り組む
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

III 目 校

ミッション 福山及び柳津町に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。松永中学校区においては、その模範の姿を示す。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) めざす子ども像	コミュニケーション力(合意形成力) & 感性・思いやり(実行力)			
学校教育目標 進んで学び 豊かな心でたくましく生きる子どもの育成		育成する力	コミュニケーション力	感性・思いやり	
現 状 (子ども) ○個別最適な学びづくりを目指した授業づくりを通し、自分で学びを進める学習が楽しいと感じる子が増えてきている。 ←(「やり方を考えたり、自分で決めて勉強をしたりすることが楽しい」…82.4%) ●家庭学習については、意欲や内容面において、学びが起きているとは言い難い。 ●自分の考えを自分なりの表現で、人に伝えようとする意欲、技能に課題が大きい。 ●自分たちで主体的に話し合いをしたり、行動したりすることが苦手な子が多い。 ●見通しをもった行動がしにくく、教師の声かけが必要な子が多い。 (授業等:昨年度取組) ・単元の中で「一人ですること、みんなですること」を織り込み、「最低限教えること」を踏まえた授業づくりに取り組んだ。 ・子どもスポーツ大会の実施、生徒指導規程の見直しなど、子どもの話し合いによる意思決定、企画運営の素地づくりに取り組んだ。	めざす子ども像	1・2年 進んで自分の考えを伝え、相手の考えも聞ける子 ルールを守り、進んで手助けができる子	3・4年 自他の考えの良さや課題を理解できる子 相手の立場を考え、自分から行動できる子	5・6年 相互の意見をよりよくできる子 相手の立場を考え、ともによりよい行動ができる子	
	研究	教科等 全科目・領域 主題・内容等 児童が主体的に考え、学ぶ授業づくり ～一人一人の個別の学びを通して～			
	めざす授業の姿	・一人一人の児童が、様々な方法で学びに夢中になる授業 ・教科の特性をふまえた、一人一人の個別の学びが認められる授業			

年 目	中期経営 目標	重 点	分 類	短期 経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
2	主体的 に学び続 ける児童の 育成	★	継続	個別最 適な学び を基盤に した授業 を日常化 させる	① 一斉授業や単元 のすべての内容の教え 込みの意識をどう変え たのか、授業者自身が 交流し、月末に自己判 定する。 ② 家庭学習を、児童 が自分で学ぶ内容・量 を決めて行うよう、発達 段階を踏まえて取り組 む。	① 月末自己判定 「子ども主体の学び を実践していると捉え ている」教職員 …70%以上 ② 「自分で内容を 決め、家庭学習に取り 組んだ」児童 …80%以上									
2	相互の 意見を大 切にし、楽 しく生活し ようとする 児童の育 成		継続	児童の 自治的活 動への満 足度を高 める	学級をよりよくなる 活動の話し合い、代表 委員会などを中心にし た異学年での話し合い 活動の場を増やす。	「自分の意見が 学級や学校に生かさ れたと感じている」児 童 …70%以上									
2	主体的 な学びを 創り出す教 職員体制 の構築		継続	職員が、 元気と笑顔 で仕事をす る	① 自分の主務に対 し、課題を見つけ、改 善策を提案する。 ② タスクマネジメント シートをもとに、スケ ジュール管理を自分 自身で徹底する。	「仕事に意義とや りがいを感じている」 教職員 …90%以上									

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。